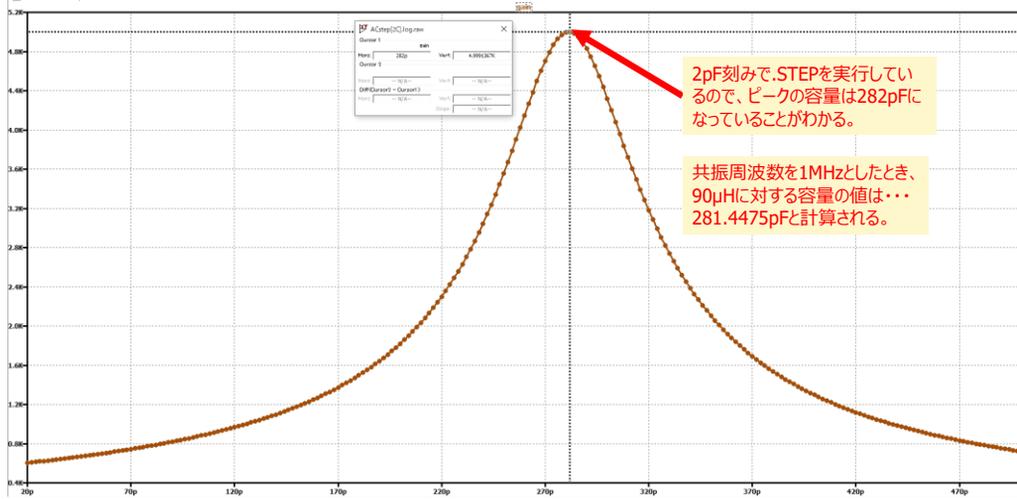


.meas によるシミュレーション結果

縦軸は[dB]ではなく、真数表示にしてある。

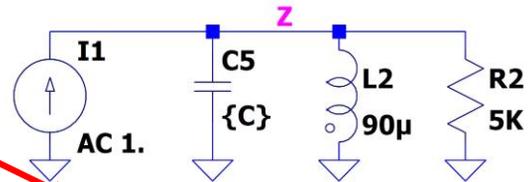


.STEP list の特別な使い方

ここまで示した方法を、.AC list を、ややトリッキーな使い方をすることで、簡単に実行する手法がある。

AC解析に、通常は「DEC」や「OCT」のような、対数目盛を選択することが多いが、ここでは「LIST」を使い、さらにその設定周波数を1ポイントのみにすることで、「.STEP」の掃引パラメータの値を直接横軸にプロットすることができる。

シミュレーション完了後ノード「Z」をプローブすれば、横軸のコントロールをせずに、直接{C}が横軸になる。



**.ac list 1Meg
.step oct param C 20p 500p 200**

シミュレーション結果は、さきほどの例題と同様のグラフになるが、周波数掃引をせず、かつ、.meas による測定（計算）も省略できるので、{C}のステップ数を増やしてもシミュレーション時間は長くないので、より細かく容量の値を読み取ることができる。

ここでは、ピークのポイントでの容量は・・・281.4877pFと読み取ることができる。

理論値・・・281.4475pFと計算される。

